

採 取 地 点		堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採 取 年 月 日		H 23. 4. 18	H 23. 4. 18	H 23. 4. 18
採 取 時 刻		12:45	13:30	11:50
全 水 深 (m)		13. 6	14. 3	15. 2
採 取 水 深 (m)		0. 50	0. 50	0. 50
採 水 量 (ml)		100	100	100
No.	門	綱	出 現 種 名	
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	290
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	110
3	不等毛植物	黄 金 色 藻	Dinobryon spp.	+
4			Mallomonas sp.	880
5		珪 藻	Asterionella formosa	8
6			Fragilaria crotonensis	+
7			Synedra acus	68
8			Thalassiosiraceae-5	200
9			Thalassiosiraceae-10	10
10			Thalassiosiraceae-25	1050
11	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Thalassiosiraceae-10	60
12	緑 色 植 物	緑 藻	Thalassiosiraceae-25	20
13			Trachelomonas spp.	130
14			Ankyra ancora	20
15			Chlamydomonas spp.	+
16			Closteriopsis longissima	8
17			Elakatothrix spp.	10
18			Monoraphidium spp.	60
19	節 足 動 物	甲 殻	Oocystis spp.	20
20	輪 形 動 物	輪 虫	Scenedesmus spp.	+
21			CRUSTACEA	40
22	繊 毛 虫	—	Keratella sp.	1
23	不 明 プ ラ ン ク ト ン		Polyarthra sp.	+
24			CILIOPHORA	+
25			微小鞭毛藻 (5 μm以下)	40
			鞭毛藻	20
			鞭毛虫	40
				80
総 数			768	1291
種 類 組 成		藍 藻	0	3577
		ク リ プ ト 藻	0	0
		渦 鞭 毛 藻	290	240
		黄 金 色 藻	0	10
		珪 藻	0	880
		ユ ー グ レ ナ 藻	276	2566
		緑 藻	20	90
		そ の 他 の 植 物 性 動 物 性	80	280
			80	180
			22	81
検 査 条 件		固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理	
		分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
		検 鏡 条 件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレバラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
備 考				
・定性検鏡において、永久プレバラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。 - また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。				

- ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。
- ・計数値の単位は、「細胞/μl」又は「個体/μl」である。
- ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。
- ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。
- ・藍藻綱 *Anabaena* 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。
- ・藍藻綱 *Aphanizomenon* 属と藍藻綱 *Raphidiopsis* 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに *Aphanizomenon* 属として計数した。
- ・藍藻綱 *Microcystis* 属の種は、群体の質から *M. viridis*, *M. wesenbergii* は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、*M. viridis*, *M. wesenbergii* 以外の種類は、最も一般的に出現している *M. aeruginosa* として同定し、*M. aeruginosa*, *M. viridis*, *M. wesenbergii* の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて *M. aeruginosa* とした。
- ・珪藻綱 *Thalassiosira* 科の種（*Cyclotella* 属、*Stephanodiscus* 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。
- ・珪藻綱 *Nitzschia acicularis* は、類似種を含めて計数した。
- ・珪藻綱 *Aulacoseira* 属の種は、従来 *Melosira* 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから *Aulacoseira* 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			H 23. 5. 19	H 23. 5. 19	H 23. 5. 19
採取時刻			12:42	13:28	11:47
全水深 (m)			21.0	15.8	16.5
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (螺旋トリコーム)		(+)
2			Anabaena (不規則トリコーム)		(10)
3			Aphanizomenon spp.	(+)	(+)
4			Oscillatoria spp.	(40)	(10)
5	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	110	130
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		20
7			Peridinium sp.	+	
8	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.	160	+
9			Mallomonas spp.	+	+
10		珪藻	Asterionella formosa	2620	3020
11			Fragilaria crotonensis	+	660
12			Navicula sp.	+	
13			Rhizosolenia longiseta		10
14	ユーグレナ植物		ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	10
15	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	20	
16			Closterium spp.	+	10
17			Coelastrum spp.	+	300
18			Oocystis sp.	+	
19			Pandorina morum		+
20			Pediastrum boryanum	240	
21			Pediastrum duplex	+	+
22			Planktosphaeria gelatinosa	+	160
23			Sphaerocystis schroeteri	+	
24			Staurastrum spp.	50	30
25			Tetraedron spp.	+	
26			節足動物	甲殻	CRUSTACEA
27	輪形動物	輪虫	Synchaeta spp.		1
28	繊毛虫	ー	CILIOPHORA	2	
29	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)		10
30			鞭毛藻	130	80
31			鞭毛虫		30
総数			3382	4492	2451
種類組成			藍藻	40	10
			クリプト藻	110	130
			渦鞭毛藻	0	20
			黄金色藻	160	0
			珪藻	2620	3690
			ユーグレナ藻	10	30
			緑藻	310	500
			その他の植物性	130	80
			動物性	2	32
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
備考			・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体系で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M.viridis、M.wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M.viridis、M.wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M.aeruginosa として同定し、M.aeruginosa、M.viridis、M.wesenbergii の3種類について各々計数した。 ・また、単独細胞を計数したものは、すべて M.aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。		

採 取 地 点		堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採 取 年 月 日		H 23. 6. 2	H 23. 6. 2	H 23. 6. 2
採 取 時 刻		11:40	12:40	11:00
全 水 深 (m)		15.2	15.7	16.2
採 取 水 深 (m)		0.50	0.50	0.50
採 水 量 (ml)		100	100	100
№	門	綱	出 現 種 名	
1	藍 色 植 物	藍 藻	Anabaena (直線トリコーム)	(+)
2			Anabaena (螺旋トリコーム)	(+)
3			Aphanocapsa sp.	(+)
4			Myxosarcina spp.	(10)
5	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	310
6	渦鞭毛植物	渦 鞭 毛 藻	Ceratium hirundinella	10
7			Peridinium sp.	10
8	不等毛植物	黄 金 色 藻	Dinobryon spp.	10
9			Mallomonas spp.	+
10			Synura sp.	+
11		珪 藻	Asterionella formosa	20
12			Attheya zachariasii	280
13			Aulacoseira ambigua	+
14			Aulacoseira granulata	+
15			Fragilaria crotonensis	130
16			Thalassiosiraceae-5	120
17			Thalassiosiraceae-10	20
18			Thalassiosiraceae-25	50
19	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	80
20	緑 色 植 物	緑 藻	Carteria spp.	10
21			Chlamydomonas spp.	30
22			Closteriopsis longissima	10
23			Coelastrum spp.	80
24			Cosmarium sp.	10
25			Crucigenia quadrata	+
26			Elakatothrix sp.	+
27			Eudorina elegans	+
28			Eudorina sp.	+
29			Lambertia judayi	20
30			Monoraphidium spp.	10
31			Oocystis spp.	+
32			Pandorina morum	1760
33			Pediastrum boryanum	460
34			Pediastrum duplex	+
35			Pediastrum simplex	+
36			Planktosphaeria gelatinosa	520
37			Scenedesmus bicaudatus	80
38			Scenedesmus ecornis	+
39			Staurostrum spp.	160
40			Volvox spp.	+
41			CHLOROPHYCEAE	40
42	輪 形 動 物	輪 虫	Asplanchna sp.	+
43			Polyarthra spp.	1
44	繊 毛 虫	キネトフラグミノフォーラ	Coleps spp.	1
45		＝	CILIOPHORA	1
46	肉 質 鞭 毛 虫	真 正 太 陽 虫	HELIOZOA	+
47	不 明 プ ラ ン ク ト ン	鞭毛藻		210
48		鞭毛虫		40
総 数			4203	5381
種 類 組 成		藍 藻	10	10
		ク リ プ ト 藻	310	160
		渦 鞭 毛 藻	10	10
		黄 金 色 藻	10	30
		珪 藻	340	2440
		ユ ー グ レ ナ 藻	80	20
		緑 藻	3190	2620
		そ の 他 の 植 物 性	210	80
		動 物 性	43	11
検 査 条 件		固 定 条 件	定量試料：グルタールアルデヒド溶液による固定（１％） 定性試料：無処理	
		分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（５μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
		検 鏡 条 件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～ 400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
備 考				
・ 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・ 計数値の単位は、「細胞／ml」又は「個体／ml」である。 ・ 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・ 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を＋で示した。 ・ 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（３種類）に各々計数した。 ・ 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・ 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M.viridis、M.wesenbergii は容易に同定できるが、この２種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M.viridis、M.wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M.aeruginosa として同定し、M.aeruginosa、M.viridis、M.wesenbergii の３種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M.aeruginosa とした。 ・ 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（３サイズ：５μm、１０μm、２５μm）で区別して各々計数した。 ・ 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・ 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。				

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			H 23. 7. 19	H 23. 7. 19	H 23. 7. 19		
採取時刻			15:00	15:55	14:20		
全水深 (m)			19. 0	14. 6	14. 4		
採取水深 (m)			0. 50	0. 50	0. 50		
採水量 (ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコム)	(790)	(390)		
2			Aphanizomenon spp.	(30)	(510)		
3			Aphanocapsa sp.		(+)		
4			Coelosphaerium sp.	(+)			
5			Lyngbya sp.	(+)			
6			Microcystis aeruginosa	560	220		
7			Microcystis viridis		830		
8			Microcystis wesenbergii	+	+		
9			Oscillatoria spp.	(10)	(230)		
10	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	210	710		
11	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	10	+		
12	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	70	+		
13		珪藻	Attheya zachariasi	+			
14			Aulacoseira ambigua		+		
15			Aulacoseira granulata	40	40		
16			Fragilaria crotonensis	180	+		
17			Rhizosolenia longiseta	20	30		
18			Synedra acus	+	+		
19			Thalassiosiraceae-5		20		
20			Thalassiosiraceae-10	+	10		
21			Thalassiosiraceae-25		+		
22			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	40	50
23			緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	40	30
24					Closterium spp.	10	10
25					Coelastrum spp.	+	480
26					Cosmarium sp.		+
27					Elakatothrix sp.		+
28					Eudorina elegans	3200	80
29	Franceia sp.				+		
30	Golenkinia radiata	+			10		
31	Monoraphidium spp.	10			10		
32	Nephrocytium spp.	+			+		
33	Oocystis spp.	360			140		
34	Pandorina morum	+			+		
35	Pediastrum simplex	+					
36	Planktosphaeria gelatinosa				+		
37	Scenedesmus ecornis				+		
38	Scenedesmus sp.	40					
39	Schroederia setigera	+			+		
40	Schroederia spp.	210			160		
41	Sphaerocystis schroeteri	+			+		
42	Staurostrum spp.	+			+		
43	CHLOROPHYCEAE	10			20		
44	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA		1		
45		一	CILIOPHORA	1	3		
46	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	4	2		
47	不明プランクトン	鞭毛藻	60	60	20		
48		鞭毛虫	60	20	140		
総数			5965	2692	4085		
種類組成			藍藻	1390	840		
			クリプト藻	210	710		
			渦鞭毛藻	10	10		
			黄金色藻	70	0		
			珪藻	240	60		
			ユーグレナ藻	40	50		
			緑藻	3880	940		
			その他の植物性動物	60	60		
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（１％） 定性試料：無処理			
検査条件			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（５μmメッシュ）により10倍に濃縮した。			
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～ 400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
備考							
・ 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。							
・ 計数値の単位は、「細胞／ml」又は「個体／ml」である。							
・ 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。							
・ 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を＋で示した。							
・ 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコムの形態別（３種類）に各々計数した。							
・ 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。							
・ 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この２種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の３種類について各々計数した。							
また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。							
・ 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（３サイズ：５μm、１０μm、２５μm）で区別して各々計数した。							
・ 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。							
・ 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。							

採取地 点			堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採 取 年 月 日			H 23. 9. 8	H 23. 9. 8	H 23. 9. 8
採 取 時 刻			10:40	11:14	10:15
全 水 深 (m)			16.6	13.1	13.8
採 取 水 深 (m)			0.50	0.50	0.50
採 水 量 (ml)			100	100	100
No.	門	綱	出 現 種 名		
1	藍 色 植 物	藍 藻	Anabaena (直線トリコーム)	(20)	(30)
2			Aphanizomenon spp.	(60)	(70)
3			Aphanocapsa spp.	(20)	(+)
4			Lyngbya contorta	(+)	(+)
5			Lyngbya spp.	(80)	(340)
6			Microcystis aeruginosa	810	1710
7			Microcystis wesenbergii	+	
8			Oscillatoria spp.	(120)	(300)
9			Phormidium spp.	(20)	(90)
10	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	80	600
11	渦鞭毛植物	渦 鞭 毛 藻	Ceratium hirundinella		+
12			Peridinium spp.		40
13			Peridiniaceae		+
14	不 等 毛 植 物	黄金色藻	Mallomonas spp.	120	100
15		ラフィド藻	RHAPHIDOPHYCEAE		10
16		珪 藻	Attheya zachariasii	10	+
17			Aulacoseira granulata	50	+
18			Nitzschia spp.	+	+
19			Rhizosolenia longiseta	30	50
20			Synedra acus	70	80
21			Synedra rumpens	+	+
22			Thalassiosiraceae＝5	40	
23			Thalassiosiraceae＝10	80	20
24			Thalassiosiraceae＝25	10	20
25	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	60	30
26	緑 色 植 物	緑 藻	Actinastrum hantzschii		+
27			Chlamydomonas spp.	20	180
28			Chlorogonium sp.	+	
29			Chodatella sp.	10	
30			Closterium spp.	70	10
31			Coelastrum spp.	+	+
32			Crucigenia crucifera	80	160
33			Crucigenia quadrata		40
34			Dictyosphaerium spp.	1640	400
35			Didymocystis spp.	20	60
36			Elakatothrix spp.	20	+
37			Eudorina spp.	640	480
38			Franceia sp.	+	
39			Micractinium spp.	+	800
40			Monoraphidium spp.	20	10
41			Mougeotia spp.	19720	10360
42			Nephrocytium spp.	+	+
43			Oocystis spp.	170	20
44			Pediastrum duplex	+	+
45			Pediastrum simplex	+	+
46			Planktosphaeria gelatinosa	240	+
47			Scenedesmus ecornis	80	+
48			Scenedesmus quadricauda	+	40
49			Scenedesmus sp.	40	
50			Schroederia setigera	30	10
51			Schroederia spiralis		10
52			Sphaerocystis schroeteri		160
53			Staurastrum spp.	10	+
54			Tetraedron sp.	+	
55			Tetrastrum staurogeniaeforme	+	
56			Treubaria setigerum	20	+
57			CHLOROPHYCEAE	210	30
58	輪 形 動 物	輪 虫	Keratella sp.		1
59			Polyarthra sp.		1
60			EUROTATOREA		1
61	繊 毛 虫	多 膜 口	POLYHYMENOPHORA		1
62		－	CILIOPHORA		1
63	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	3	10
64	不 明 プ ラ ン ク ト ン		微小鞭毛藻（5 μm以下）	200	120
65			鞭毛藻	40	40
66			鞭毛虫	20	40
総 数			24983	15082	20764
種 類 組 成			藍 藻	1130	2530
			ク リ プ ト 藻	80	600
			渦 鞭 毛 藻	0	40
			黄 金 色 藻	120	100
			珪 藻	290	130
			ユ ー グ レ ナ 藻	60	30
			緑 藻	23040	11560
			そ の 他 の 植 物 性	240	50
			動 物 性	23	42
検 査 条 件			固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（１％） 定性試料：無処理	
			分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検 鏡 条 件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、 倒立型顕微鏡（100～ 400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
備 考					
・ 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・ 計数値の単位は、「細胞／ml」又は「個体／ml」である。 ・ 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・ 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を＋で示した。 ・ 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（３種類）に各々計数した。 ・ 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・ 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M.viridis、M.wesenbergii は容易に同定できるが、この２種類以外のものについては同定が困難場合がある。したがって、M.viridis、M.wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M.aeruginosa として同定し、M.aeruginosa、M.viridis、M.wesenbergii の３種類について各々計数した。 また、単独細胞を計数したものは、すべて M.aeruginosa とした。 ・ 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（３サイズ：5 μm、1 0 μm、2 5 μm）で区別して各々計数した。 ・ 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・ 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。					

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			H 23. 10. 13	H 23. 10. 13	H 23. 10. 13		
採取時刻			12:25	13:07	11:55		
全水深 (m)			17. 6	15. 9	16. 3		
採取水深 (m)			0. 50	0. 50	0. 50		
採水量 (ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (螺旋トリコーム)	(+)			
2			Aphanizomenon spp.	(+)	(10)		
3			Lyngbya spp.	(10)	(40)		
4			Microcystis aeruginosa	140	80		
5			Microcystis viridis		+		
6			Oscillatoria spp.	(60)	(20)		
7			Phormidium spp.	(+)			
8	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	520	510		
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	+	+		
10	不等毛植物	黄金色藻 ラフィド藻 珪藻	Peridinium spp.	70	90		
11			Mallomonas spp.	50	110		
12			RHAPHIDOPHYCEAE	+			
13			Attheya zachariasii	30	10		
14			Aulacoseira ambigua		20		
15			Aulacoseira granulata	60	+		
16			Nitzschia spp.	70			
17			Rhizosolenia longiseta				
18			Synedra acus	+	+		
19			Synedra sp.		+		
20			Thalassiosiraceae-5	40	40		
21			Thalassiosiraceae-10	10	10		
22			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	70	90
23			緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	30	20
24					Closterium spp.	30	+
25					Coelastrum spp.	320	160
26					Crucigenia crucifera	160	
27					Dictyosphaerium spp.	+	+
28	Elakatothrix sp.	+					
29	Eudorina elegans	+					
30	Eudorina spp.	+			320		
31	Kirchneriella sp.	+					
32	Lambertia judayi	30					
33	Micractinium spp.	480			+		
34	Monoraphidium spp.	+			+		
35	Mougeotia spp.	+			+		
36	Nephrocytium sp.	+					
37	Oocystis spp.	10					
38	Pandorina morum				320		
39	Pediastrum duplex				+		
40	Pediastrum simplex	320			+		
41	Planktosphaeria gelatinosa	+			120		
42	Scenedesmus spp.	80					
43	Schroederia spp.	50			50		
44	Staurastrum spp.	+			10		
45	Tetraedron sp.	+			+		
46	CHLOROPHYCEAE						
47	節足動物	甲殻	CRUSTACEA	1	1		
48	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.		1		
49	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA		1		
50		ー	CILIOPHORA		1		
51	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	1	1		
52	不明プランクトン		微小鞭毛藻（5 μm以下）	40	20		
53			鞭毛藻	340	60		
54			鞭毛虫	40	20		
総数			3062	2073	3323		
種類組成			藍藻	210	110		
			クリプト藻	520	510		
			渦鞭毛藻	70	90		
			黄金色藻	50	110		
			珪藻	210	80		
			ユーグレナ藻	70	90		
			緑藻	1510	1000		
			その他の植物性動物性	380	60		
				42	23		
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理			
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。			
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～ 400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
備考							
・ 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・ 計数値の単位は、「細胞／ml」又は「個体／ml」である。 ・ 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・ 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・ 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・ 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・ 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・ 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の穀面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・ 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・ 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。							

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			H 23.11. 7	H 23.11. 7	H 23.11. 7
採取時刻			11:45	12:30	11:10
全水深 (m)			17.9	15.8	16.3
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)	(+)	(+)
2			Anabaena (螺旋トリコーム)		(+)
3			Microcystis aeruginosa	+	+
4			Oscillatoria spp.	(20)	
5	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	980	270
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		
7	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	20	+
8		ラフィド藻	RHAPHIDOPHYCEAE		10
9		珪藻	Asterionella formosa	+	+
10			Attheya zachariasii	+	+
11			Aulacoseira ambigua	110	120
12			Aulacoseira granulata	60	120
13			Melosira varians	10	+
14			Navicula spp.	10	10
15			Nitzschia spp.	10	+
16			Thalassiosiraceae-10	+	10
17			Thalassiosiraceae-25	+	+
18	ユーグレナ植物		ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	20
19	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	10	10
20			Closterium spp.	10	+
21			Coelastrum spp.	+	+
22			Eudorina spp.	160	+
23			Monoraphidium spp.	+	+
24			Oocystis sp.	80	
25			Pediastrum simplex	80	
26			Planktosphaeria gelatinosa		+
27			Scenedesmus denticulatus	+	+
28			Scenedesmus sp.		+
29			Schroederia setigera	10	+
30			Schroederia spiralis		+
31			Selenastrum minutum		+
32			Staurastrum spp.		+
33			CHLOROPHYCEAE	30	10
34	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.		1
35			EUROTATOREA		1
36	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis sp.		1
37			POLYHYMENOPHORA		1
38	不明プランクトン	鞭毛藻		140	80
総数				1740	751
種類組成			藍藻	0	20
			クリプト藻	980	270
			渦鞭毛藻	0	0
			黄金色藻	20	0
			珪藻	200	260
			ユーグレナ藻	20	90
			緑藻	380	20
			その他の植物性動物性	140	90
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（１％） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～ 400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
備考			・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（３種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M.viridis、M.wesenbergii は容易に同定できるが、この２種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M.viridis、M.wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M.aeruginosa として同定し、M.aeruginosa、M.viridis、M.wesenbergii の３種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M.aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（３サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。		

採取地点			堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採取年月日			H 23.12.12	H 23.12.12	H 23.12.12
採取時刻			14:30	16:05	15:25
全水深 (m)			20.5	16.5	16.8
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Microcystis aeruginosa	+	
2			Phormidium spp.	(10)	(+)
3	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	150	80
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	1	
5			Peridiniaceae		30
6	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	10	1
7		珪藻	Asterionella formosa		2
8			Aulacoseira ambigua	20	+
9			Aulacoseira granulata		+
10			Navicula sp.	10	
11			Thalassiosiraceae-5	20	10
12			Thalassiosiraceae-10	20	40
13			Thalassiosiraceae-25	2	
14	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	50	10
15	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas sp.		10
16			Closterium spp.	10	20
17			Coelastrum spp.	+	+
18			Monoraphidium spp.	+	+
19			Oocystis sp.	+	
20			Scenedesmus sp.	+	
21			Sphaerocystis schroeteri		+
22			Staurostrum sp.		1
23			Tetraspora sp.		+
24			CHLOROPHYCEAE	+	
25	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		1
26	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.		1
27	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	3	1
28	不明プランクトン		鞭毛藻	120	30
29			鞭毛虫	20	
総数				446	202
種類組成			藍藻	10	0
			クリプト藻	150	80
			渦鞭毛藻	1	30
			黄金色藻	10	0
			珪藻	72	50
			ユーグレナ藻	50	10
			緑藻	10	0
			その他の植物性動物性	120	30
				23	2
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
備考			- 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 - 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 - 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 - 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 - 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 - 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 - 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。 - 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 - 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 - 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結計の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。		

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			H 24. 1. 18	H 24. 1. 18	H 24. 1. 18	
採取時刻			11:15	11:48	10:38	
全水深 (m)			14.6	15.4	17.1	
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (螺旋トリコーム)	(+)		
2	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.		70	
3	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+	10	
4		珪藻	Asterionella formosa	+	+	
5			Aulacoseira ambigua	30	+	
6			Aulacoseira distans	+	40	
7			Aulacoseira granulata	+	120	
8			Nitzschia sp.		+	
9			Synedra acus	+	10	
10			Thalassiosiraceae-5	20	40	
11			Thalassiosiraceae-10	30	50	
12			Thalassiosiraceae-25	20	40	
13	ユーグレナ植物		ユーグレナ藻	Phacus sp.	1	
14			Trachelomonas spp.		10	+
15	緑色植物		緑藻	Actinastrum hantzschii		+
16		Chlamydomonas spp.		80	+	
17		Closteriopsis longissima		30	10	
18		Closterium spp.		10	+	
19		Elakatothrix sp.			+	
20		Oocystis sp.			+	
21		Planktosphaeria gelatinosa		+		
22		Scenedesmus ecornis		80	40	
23		Scenedesmus spp.		+	+	
24		Sphaerocystis schroeteri			+	
25		Staurastrum spp.		+	+	
26		CHLOROPHYCEAE		30	10	
27	輪形動物	輪虫	Synchaeta sp.		1	
28	繊毛虫	ー	CILIOPHORA	2		
29	不明プランクトン	鞭毛藻		120	20	
総数			250	473	291	
種類組成		藍藻	0	0	0	
		クリプト藻	0	70	0	
		渦鞭毛藻	0	0	0	
		黄金色藻	0	0	10	
		珪藻	100	130	260	
		ユーグレナ藻	0	11	0	
		緑藻	150	140	0	
		その他の植物性動物	0	120	20	
		動物性	0	2	1	
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理			
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。			
		検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～ 400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
備考						
・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞／ml」又は「個体／ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を＋で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M.viridis、M.wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M.viridis、M.wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M.aeruginosa として同定し、M.aeruginosa、M.viridis、M.wesenbergii の3種類について各々計数した。 また、単独細胞を計数したものは、すべて M.aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。						

採取地			堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採取年月日			H 24. 2. 14	H 24. 2. 14	H 24. 2. 14
採取時刻			12:08	13:00	11:12
全水深 (m)			17. 1	15. 6	16. 3
採取水深 (m)			0. 50	0. 50	0. 50
採水量 (ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	110	80
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	30	10
3	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+	10
4			Synura spp.	2740	1200
5		珪藻	Asterionella formosa	+	80
6			Aulacoseira ambigua	+	+
7			Aulacoseira distans	530	+
8			Cymbella sp.	+	
9			Melosira varians		20
10			Nitzschia spp.	30	
11			Synedra acus	+	
12			Synedra ulna	20	
13			Synedra spp.		10
14			Thalassiosiraceae-5	20	20
15			Thalassiosiraceae-10	140	80
16			Thalassiosiraceae-25	30	20
17	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Phacus sp.		1
18			Trachelomonas spp.	40	30
19	緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii		+
20			Chlamydomonas spp.	160	40
21			Closterium spp.		+
22			Dictyosphaerium sp.	+	
23			Didymocystis sp.		+
24			Monoraphidium spp.	30	10
25			Oocystis spp.	+	+
26			Planktosphaeria gelatinosa		+
27			Scenedesmus spp.	+	+
28	輪形動物	輪虫	EUROTATOREA	1	
29	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	1	2
30			POLYHYMENOPHORA		1
31		ー	CILIOPHORA	2	2
32	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	2	1
33	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	20	20
34			鞭毛藻	260	40
35			鞭毛虫	20	60
総数				4186	1717
種類組成			藍藻	0	0
			クリプト藻	110	80
			渦鞭毛藻	30	10
			黄金色藻	2740	1210
			珪藻	770	230
			ユーグレナ藻	40	31
			緑藻	190	50
			その他の植物性動物性	280	40
				26	66
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（１％） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～ 400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
備考			・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞／ml」又は「個体／ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（３種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この２種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の３種類について各々計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の断面直径（３サイズ：５μm、１０μm、２５μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。		

採取地 点			堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採 取 年 月 日			H 24. 3. 14	H 24. 3. 14	H 24. 3. 14
採 取 時 刻			14:50	15:56	14:05
全 水 深 (m)			16.8	15.9	16.7
採 取 水 深 (m)			0.50	0.50	0.50
採 水 量 (ml)			100	100	100
No	門	綱	出 現 種 名		
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	40	10
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium spp.	+	+
3			Peridinium spp.	60	320
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	+	
5			Synura spp.	140	440
6		珪藻	Asterionella formosa	+	+
7			Aulacoseira distans	100	160
8			Fragilaria crotonensis	+	
9			Nitzschia sp.		+
10			Synedra acus	10	+
11			Synedra rumpens	+	
12			Synedra sp.	+	
13			Thalassiosiraceae-10	90	60
14			Thalassiosiraceae-25	30	20
15	ユーグレナ植物		ユーグレナ藻	Euglena sp.	
16			Trachelomonas spp.	10	30
17	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	30	280
18			Closteriopsis longissima	10	
19			Oocystis spp.	+	+
20	輪形動物		輪虫	Synchaeta spp.	
21	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis sp.		1
22		—	CILIOPHORA		5
23	不明プランクトン		微小鞭毛藻（5 μm以下）	20	
24			鞭毛藻	200	260
25			鞭毛虫		
総 数			740	1588	312
種 類 組 成			藍藻	0	0
			ク リ プ ト 藻	40	10
			渦 鞭 毛 藻	60	320
			黄 金 色 藻	140	440
			珪 藻	230	240
			ユ ー グ レ ナ 藻	10	30
			緑 藻	40	280
			そ の 他 の 植 物 性	220	260
			動 物 性	0	8
検 査 条 件			固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理	
			分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ） により10倍に濃縮した。	
			検 鏡 条 件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、 倒立型顕微鏡（100～ 400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
備 考			・ 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・ 計数値の単位は、「細胞／ml」又は「個体／ml」である。 ・ 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・ 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・ 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・ 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・ 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M.viridis、M.wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M.viridis、M.wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M.aeruginosa として同定し、M.aeruginosa、M.viridis、M.wesenbergii の3種類について各々計数した。 また、単独細胞を計数したものは、すべて M.aeruginosa とした。 ・ 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・ 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・ 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。		

綱別プランクトン数月別推移（堤体直上流部）

調 査 月 日	藍藻	クリプト藻	渦鞭毛藻	黄金色藻	珪藻	ユーグレナ藻	緑藻	その他の植物性	動物性	合 計
4月 18日	0	290	0	0	276	20	80	80	22	768
5月 19日	40	110	0	160	2620	10	310	130	2	3382
6月 2日	10	310	10	10	340	80	3190	210	43	4203
7月 19日	1390	210	10	70	240	40	3880	60	65	5965
8月 4日	10900	40	0	10	1520	90	1590	20	33	14203
9月 8日	1130	80	0	120	290	60	23040	240	23	24983
10月 13日	210	520	70	50	210	70	1510	380	42	3062
11月 7日	0	980	0	20	200	20	380	140	0	1740
12月 12日	10	150	1	10	72	50	10	120	23	446
1月 18日	0	0	0	0	100	0	150	0	0	250
2月 14日	0	110	30	2740	770	40	190	280	26	4186
3月 14日	0	40	60	140	230	10	40	220	0	740

綱別プランクトン数月別推移（小月橋）

調 査 月 日	藍藻	クリプト藻	渦鞭毛藻	黄金色藻	珪藻	ユーグレナ藻	緑藻	その他の植物性	動物性	合 計
4月 18日	0	110	0	880	250	10	20	20	1	1291
5月 19日	10	130	20	0	3690	30	500	80	32	4492
6月 2日	10	160	10	30	2440	20	2620	80	11	5381
7月 19日	840	710	10	0	60	50	940	60	22	2692
8月 4日	11300	360	0	50	510	50	2560	200	14	15044
9月 8日	2530	600	40	100	130	30	11560	50	42	15082
10月 13日	110	510	90	110	80	90	1000	60	23	2073
11月 7日	20	270	0	0	260	90	20	90	1	751
12月 12日	0	80	30	0	50	10	0	30	2	202
1月 18日	0	70	0	0	130	11	140	120	2	473
2月 14日	0	80	10	1210	230	31	50	40	66	1717
3月 14日	0	10	320	440	240	30	280	260	8	1588

綱別プランクトン数月別推移（亀山大橋）

調 査 月 日	藍藻	クリプト藻	渦鞭毛藻	黄金色藻	珪藻	ユーグレナ藻	緑藻	その他の植物性	動物性	合 計
4月18日	0	240	10	130	2566	90	280	180	81	3577
5月19日	30	70	0	80	1130	20	1080	40	1	2451
6月2日	20	200	10	0	550	80	1610	140	42	2652
7月19日	1340	340	0	0	80	20	2140	20	145	4085
8月4日	13310	450	0	50	3600	50	3140	90	32	20722
9月8日	2280	100	0	150	210	10	17760	160	94	20764
10月13日	180	610	190	590	160	70	1360	120	43	3323
11月7日	0	260	0	0	300	10	90	40	4	704
12月12日	0	30	10	1	22	0	31	10	5	109
1月18日	0	0	0	10	260	0	0	20	1	291
2月14日	0	190	100	2950	390	120	350	500	96	4696
3月14日	0	20	40	70	50	0	10	80	42	312